

信長が愛した

生駒家・吉乃 ゆかりの里めぐり 布袋・歴史散策 map

「武功夜話」にみる信長と吉乃

吉乃の方は、天文7年(1538)に生まれ、父は生駒家三代家宗(生駒氏文書による)です。彼女は土田弥平次に嫁りましたが、弥平次は明智合戦で戦死という悲運にあい、新婚の夢破れて兄の生駒家長が住む生駒屋敷に帰ってきました。そこで、信長に見初められてその室となり、信忠、信雄、徳姫を産みました。「信長公記」によると信長は天文17年(1548)に、美濃の国齋藤道三の娘の濃姫を正室に迎えたことになっていますが、「武功夜話」では弘治2年(1556)3月に輿入れしたとなっています。濃姫には子供がなく、没年もはっきりしていませんので、吉乃の方の存在は正室に代わるものでした。

1 吉乃の方茶毘地(経塚)

吉乃の方が小牧城で没し、茶毘に付された場所です。石碑に刻まれている観音像は吉乃の面影が偲ばれ、小牧山を向いて建てられています。その時植えられたという彼岸桜は、後に吉乃を演じた女優高木美保さんにより、「吉乃桜」と命名され、市の文化財に指定されています。

2 常観寺

地蔵堂に県指定文化財の鑄鉄地蔵菩薩立像があります。継母により煮殺される寸前の風呂釜から子供を救った伝説があり、「お釜地蔵」と呼ばれています。

3 龍神社

生駒家の氏神であり、信長の次男・織田信雄の出生の地です。吉乃の方が信長と会った「吉乃御殿」が社務所の東あたりと伝えられています。

4 久昌寺

信長の室・吉乃の方(久庵桂昌大禅定尼)が葬られています。生駒家の菩提寺であり、本堂西の墓地には歴代当主の墓碑が並んでいます。

5 神明社

生駒家の守護神として勧請した社です。本殿は、一間社神明造りでこの種の古い建物が残っているのは珍しいといわれ、市の文化財に指定されています。

6 生駒屋敷跡(小折城跡)

生駒家の屋敷(小折城)があった所です。三代家宗の娘・吉乃が織田信長の室となり、生駒家は尾張一円を支配するようになりました。藤吉郎(のちの秀吉)も生駒屋敷に出入りし、吉乃の方の口添えで信長に奉公したと伝えられています。

7 般若寺

明徳2年(1391)に僧大雲が創建し、一時荒廃していたものを生駒氏が再建しました。本尊の千手観音像は室町時代のもので、市の文化財に指定されています。

8 宝頂山墓地

生駒家の墓所の一つです。四代家長夫妻の五輪塔や、この近辺では珍しい五代利豊夫妻の石廟形式の墓があります。

9 富士塚の碑

小牧長久手の戦いの際には徳川家康が織田信雄と共に、ここから敵陣(秀吉軍)を視察した地です。碑は、生駒家六代利勝が建てました。

10 廣間家の門(生駒屋敷の中門)

布袋まちあるきmap(表面)をご覧ください。



布袋駅～久昌寺(田代町)	まちあるき距離 約1.7km 徒歩による時間 約21分
布袋駅～若宮八幡宮(力長町)	まちあるき距離 約2.5km 徒歩による時間 約32分
布袋駅～二子山古墳(曾本町)	まちあるき距離 約2.5km 徒歩による時間 約32分

歩いていきいき健康増進!

2km歩いた時の消費エネルギーの目安
普通歩行(平地67m/分の速さ)

体重50kg	: 79kcal	体重60kg	: 95kcal
体重70kg	: 110kcal	体重80kg	: 126kcal

《参考》

	ごはん1杯(150g)	250kcal
	まんじゅう(100g)	260kcal
	バナナ(中1本)	80kcal